

時代の風向きが見える最新の賃貸トレンド

多くの人々の生活の基盤となつてきている賃貸住宅は一方で、時代の歩みと世相を色濃く映します。日々、発表される調査結果から、時代の風向きや若い世代の思いが見えてきます。

流行をリードする若者の意識とは



「引越しの際の物件選び」「不動産会社と直接話す」が約3割

インフルエンサー・キヤスティングを行なう（株）Uタカタが、Z世代（1996年～2012年生まれ）を対象に実施した「引越しの際の物件選びで最も使用している媒体」に関する調査によると、最も使用している媒体は、「S U U M Oなどの物件情報が掲載されたサイト」が63・7%を占めています。

次に、「不動産会社と直接話す」が29・3%。結局、不動産会社と話すのが一番早く、気になつたらすぐに内見できるため、としています。次いで「You Tube」が3・18%、「Tik Tok」が2・55%となつていて

賃貸住宅においても、若者の意識がトレンドとして広がっています。 借貸住宅においても、若者の意識がトレンドとして広がっています。

同棲における理想の間取りの1位は「2LDK」

不動産情報サービスのアットホーム（株）が19歳～29歳の同棲をしているカップルを対象に実施した、「同棲カップルの住まい探しに関する調査」結果によると、同棲における理想の間取りの1位は「2LDK」で4割超を占め、住まい探しにおける主導権は、男女どちらも「パートナーに譲っている」と認識しているようです。

譲れなかつた設備の1位は、男女ともに「バス・トイレ別」で、「生活用品を買う施設が充実」で、内見できるため、としています。次いで「1時間未満」で、「駅からの近さ」「通勤距離」が上位で、理想の月額支払額は「8万円以上12万円未満」が最多となっています。

ます。

ます。